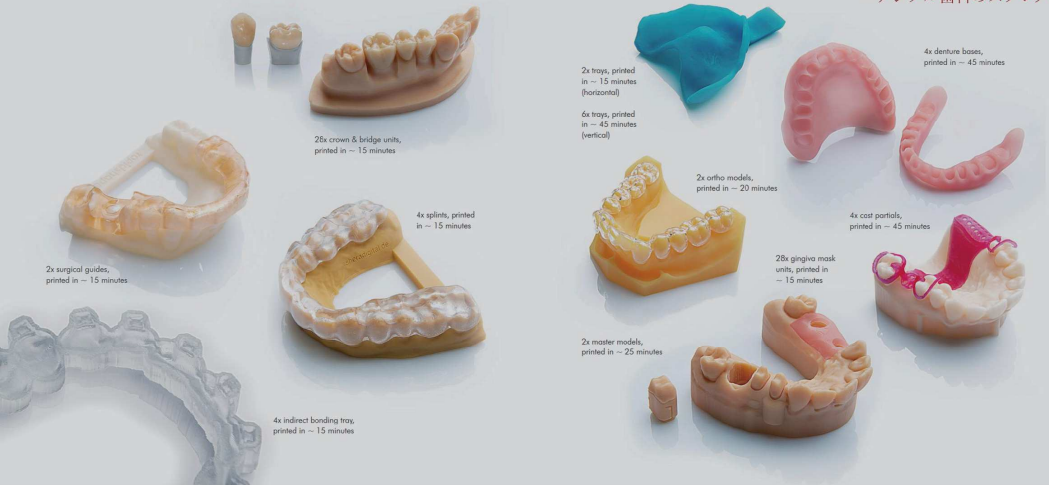


rapidshape

—デジタル歯科のスタンダード—



高速

High Speed



高精度

High Precision

矯正モデル 20分



コアフロント株式会社は、ラピッドシェイプ社認定のサポート&メンテナンス拠点として承認されています。

歯科用3Dプリンター ラピッドシェイプ Dシリーズ

スキャン / 設計

Scan/Design

造形

Print

洗浄

Wash

二次硬化

Cure



特許技術

FFS 搭載

(Force Feedback System)

DLP+FFSによる
高速・高精度プリントを基本性能に
導入コストを抑えたクリニック用から
矯正用セットアップモデル量産タイプまで
充実したラインナップ。

New D+ series Printer Portfolio



マテリアル オープンシステム

様々なメーカーのレジンに
ラビッドシェイプ社が公式に対応。
薬事届出登録済みの
スプリント/サージカルガイド/トレー等
のためのレジンをご用意しております。

D20+

人号 No. 1



ラビッドシェイプの標準機。
クリニック内でも置ける省スペース
設計。上位機種と同等の造形速度で、
動作音も静かです。

D30+

ラビッドシェイプの
フラッグシップモデル



中型規模量産型の3Dプリンター。
特許技術の**自動切り離し機能**が付き、
生産性を更に加速させます。タッチパ
ネルで簡単操作。FFSのモニタリング
もできます。

D40 II

D30+と同じ機体サイズで
大量造形を実現！



レジン硬化のための光源であるプロジェク
ターを2つ搭載。D30+2台分の造形エリア
を持ちます。

※自動切り離し機能は搭載していません。



矯正モデル ×2



スプリント ×4



サージカルガイド ×2



テンポラリークラウン ×28



インプラントモデル ×2

※ D30+で造形した場合

RS wash

自動洗浄機

RS cure

二次硬化機



- ・最適な仕上げと環境にやさしい
自動クリーニング
- ・6インチタッチスクリーン
- ・交換可能な液体容器
(プラグインシステム)
- ・対応樹脂の公式パラメーター内蔵

- ・紫外線を360°からの照明に
よる完全硬化
- ・紫外線を吸収する酸素を
真空で排除
- ・6インチタッチスクリーン
- ・RS Washと積み重ねが可能
- ・ファームウェアの更新で順次、
新素材に対応

動画配信中

使用方法や製品情報を
わかりやすくご紹介しています。



・自動切り離し機能

造形後、カゴが造形物の真下へ移動し、
刃物で造形物をプラットフォームから
切り離します。造形物を受け取ったカ
ゴは、初期の場所に戻ります。

※将来的には連続造形機能が搭載予定です



他にもラボ用・大量生産用など
ラインナップを揃えています。



自動化 PR動画

仕様一覧



機種	3Dプリンター			自動洗浄機	二次硬化機
型式	D20+	D30+	D40 II	RS wash	RS cure
特徴	DLP+FFS / マテリアルオープンシステム			IPA 攪拌洗浄	真空照射
FFS モニター	—	○		—	
フード開閉	手 動	ワンタッチボタン(手動も可)			手 動
レジンリザーバー加熱機能	—	○		—	
造形物自動切り離し機能	—	○	—	—	
本体サイズ (W×D×H) mm	335×349×541	480×410×690		230×270×450	230×270×380
重量	約 33 kg	約 40 kg	約 42 kg	約 8 kg	約 12 kg
光源 / 波長	LED/ 385 nm			—	UV-A & UV-B LED
造形エリア (W×D×H) mm	130×75×90	130×75×110	(130×75×110) × 2 エリア	—	
解像度	+/- 34 μm, HD 1920 × 1080 px			—	
チャンバーサイズ (W×D×H) mm	—			130×75×60	130×75×60

マテリアルオープンシステム

取扱いレジンメーカー

DeltaMed
DENTAL MEDICAL TECHNOLOGY

DETAx

SHERA
DENTAL TECHNOLOGY

Drevo

rapidshape



用 途

- 模型
- スプリント
- サージカルガイド
- 鋳造パターン
- トレー
- 矯正関連用
- 歯肉模型

よくある質問

01. ラビッドシェイプの本体以外に必要な機器は？

専用のWindows版PCが必要になります。口腔内スキャナーまたはラボスキャナーで、元になるデータを入手します。歯列模型だけを作りたいなら、フリーソフトで対応できる場合もあります。技工物などをデザインする場合には、歯科用のCADソフトが必要になります。後処理工程で、自動洗浄機「RS wash」や二次硬化機「RS cure」があると便利です。

02. 後処理って何？

3Dプリンターの多くは洗浄と二次硬化という2つの後処理工程が必須です。造形物表面に残った液状のレジンを落とすため、レジンと親和性の高いアルコール(イソプロパノール：IPA)で洗浄します。洗浄後は、IPAをよく乾燥させます。3Dプリンターでは100%レジンを重合させられていないため、二次硬化機で紫外線を照射し、造形物を完全に重合させます。

03. どれが消耗品？

レジンと、レジンを入れるリザーバーです。リザーバーは200回プリント程度での交換がメーカー推奨です。丁寧な使い方であれば500回以上使える場合もあります。

04. 材料レジンはラビッドシェイプが提供している純正品以外も使える？

基本的にラビッドシェイプ本体にパラメータが登録されたレジンのみ使用することが可能です。公式対応していないレジンも使用可能ですが、造形が正常にできるか、寸法精度が出るかなど、お客様での確認作業が必要です。造形の是非や機器トラブル時の補償外になりますので自己責任にてお願いいたします。

05. 模型1個あたりの材料費

使用するレジンの種類や造形物の形状にも因りますが、下顎一つ500～600円程度です。

製造販売元：お問い合わせ：

COREFRONT

コアフロント株式会社 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-11 外濠スカイビル 4F

TEL 03-5579-8710 FAX 03-5579-8711 e-mail desk@corefront.com <https://www.corefront.com>